

報道関係各位
企画展のご案内

筒井康隆展



1. 「断筆宣言」記念人形 1993年

GOD降臨。

筒井康隆初の大規模展覧会！

10月6日(土)～12月9日(日)
世田谷文学館

広報に関するお問い合わせ：世田谷文学館学芸部 佐野

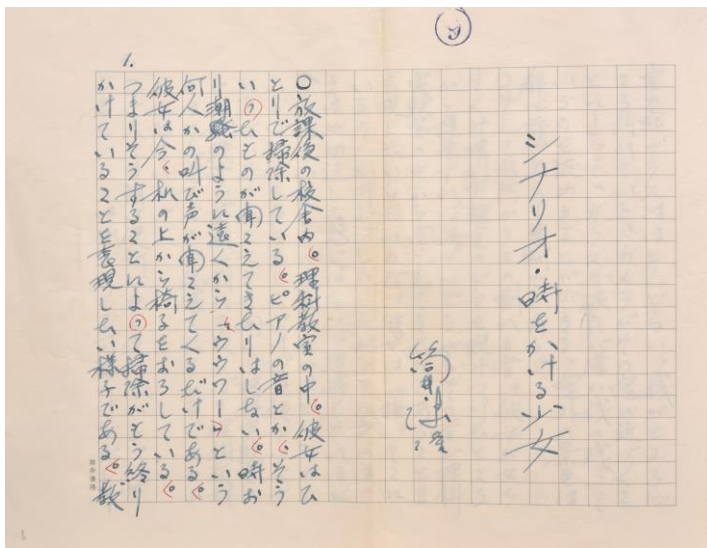
157-0062 東京都世田谷区南烏山 1-10-10 TEL 03-5374-9111 / FAX 03-5374-9120

Summary

『時をかける少女』『七瀬ふたたび』『虚人たち』『虚航船団』『旅のラゴス』『残像に口紅を』『文学部唯野教授』『モナドの領域』…、エンターテインメントと純文学の垣根を自由に越境、常に読者を驚かせ、魅了し続ける作家・筒井康隆。

1960年、江戸川乱歩が編集する雑誌「宝石」に掲載された「お助け」で作家デビューした筒井康隆は、星新一・小松左京とともに「SF 御三家」と呼ばれ人気を博します。その後は SF の枠に止まらない実験小説を次々と発表し、唯一無二の筒井康隆ワールドを築き上げてきました。

2018年秋、世田谷文学館では、今なお旺盛な創作活動を続ける、現代文学最高峰・筒井康隆の世界を紹介する展覧会を開催します。すべてにおいて規格外のこの作家の魅力を、初公開の原稿ほか多彩な資料と、独創的な展示空間でお伝えします。



2. 筒井康隆『シナリオ・時をかける少女』原稿 1983年

Profile

筒井 康隆 つついやすたか

1934年大阪市生まれ。1960年SF同人誌「NULL」を発刊し、江戸川乱歩に認められて作家活動を開始する。81年『虚人たち』で泉鏡花賞、87年『夢の木坂分岐点』で谷崎潤一郎賞、89年『ヨッパ谷への降下』で川端康成文学賞、92年『朝のガスパール』で日本SF大賞、2010年菊池寛賞、17年『モナドの領域』で毎日芸術賞を受賞。02年に紫綬褒章を受章。主な作品に『時をかける少女』『家族八景』『大いなる助走』『虚航船団』『残像に口紅を』『文学部唯野教授』『聖痕』など多数。舞台・テレビ出演など幅広く活躍中。



3. 筒井康隆
撮影：網中健太

Topics

◎見どころⅠ 筒井康隆の「凄み」とはこのことだ！

★ 「小説を書こう、あるいは小説家になろうと決めた時から、その人の書くものには凄みが生じる筈である。小説を書くとは、もはや無頼の世界に踏み込むことであり、良識を拒否することでもある。」(『創作の極意と掟』2014年講談社)

小説に一般常識などの制限も、文学ジャンルの固定もなく、常に新しい試みを目の前に提示する、筒井作品の凄み。星新一・小松左京らとともに日本にSFを根付かせた作品群、実験的な言葉・方法論を駆使したスラップスティック作品、哲学的理論を小説へと昇華させる実験作、時代を超えて愛されるジュブナイル…膨大かつ多ジャンルの作品が、すべてひとりの作家から生み出されたことの衝撃とスケール感を、斬新な展示手法で体感していただきます。(会場デザイン:トラフ建築設計事務所)

◎見どころⅡ 「筒井康隆劇場」出現！

★ 学生時代は、日活ニューフェイスに応募するほどに演劇にのめりこんだ筒井康隆。20歳の時に劇団・青猫座に所属し数々の公演に出演し、新聞に「新劇界今年のホープ」として、仲谷昇とともに紹介されました。1982年、筒井は自身が座長の「筒井康隆大一座」を立ち上げ、『スタア』(監督:内藤誠 製作・原作・脚本・音楽・出演:筒井康隆)ほか、演劇・映像作品を数多く手掛けます。1999年には、演出家・蜷川幸雄のたつての希望で、チェーホフ作『かもめ』に、作家のトリゴリン役で出演して好評を博しました。会場の「筒井康隆劇場」では、『かもめ』、『スタア』ほか貴重な映像をご紹介します、俳優・筒井康隆の活躍を存分にご覧いただけます。

◎見どころ 読者との交流・多彩なエピソード

- ★ 筒井康隆のファンクラブは1976年に発足しました。名誉会長は、ジャズピアニストの山下洋輔。そのほか各界にも熱烈なファンが大勢います。「ツイスト」(筒井の一挙手一投足を強烈に楽しむことのできる読者)たちとのユニークな交流と、彼らの手により集められた資料が結集するコーナーでは、その熱量に圧倒されること間違いなしです。
- ★ 代表的なエピソードでは、差別用語をめぐるマスコミの脆弱さに抗議し、一切の執筆を断つことになった「断筆宣言」(1993年)があげられます。断筆中に俳優業を再開し、山下洋輔、坂田明らジャズ・ミュージシャンらと「筒井康隆断筆祭」を開催するなど、文学というジャンルに拘らず、無頼の世界を求め続ける筒井康隆の凄みをご堪能ください。

Events

事前申込

1. トーク&オークションイベント「わたしの筒井康隆」

多彩なゲストを迎えてのトークと、筒井さん愛蔵のSF蔵書ほか、秘蔵の品々を一挙販売するオークションイベントです。オークション終了後には、筒井さんの朗読会が開催されます！

①第1回

[日時] 11月3日(土・祝)18:00~20:00
 [出演] 菊地成孔(音楽家・文筆家)、筒井康隆
 [会場] 1階文学サロン [対象] 一般
 [参加費] 1000円 [定員] 抽選150名
 [申込締切] 10月20日(必着)

②第2回

[日時] 12月1日(土)18:00~20:00
 [出演] 中川翔子(タレント)、筒井康隆
 [会場] 1階文学サロン [対象] 一般
 [参加費] 1000円 [定員] 抽選150名
 [申込締切] 11月17日(必着)

2. 筒井康隆展 記念対談「筒井康隆を語る」

筒井作品を愛読する作家・松浦寿輝さんとの豪華記念対談です。筒井作品の魅力について、存分に語り合ってください。

[日時] 12月8日(土)15:00~16:00
 [出演] 松浦寿輝(作家)、筒井康隆 [会場] 1階文学サロン
 [対象] 一般 [参加費] 1000円 [定員] 抽選150名 [申込締切] 11月24日(必着)



4. 菊地成孔



5. 中川翔子



6. 松浦寿輝

3. どこでも文学館ワークショップ

「もっと朗読を楽しもう～プロの読み方を聞いてやってみよう～」

展覧会を記念して「時をかける少女」を朗読します。声のプロフェッショナルである講師の指導のもと、本格的な朗読を体験して、文学に親しみましょう。

[日時] 10月14日(日)14:00~16:30
 [講師] 緒方賢一、水田わさび
 [会場] 青少年交流センター池之上青少年会館 1階音楽室 (世田谷区代沢 2-37-18)
 [対象] 小・中学生 [参加費] 無料 [定員] 抽選20名 [申込締切] 9月28日(必着)

平成30年度 文化庁 地域の美術館・歴史博物館を中核としたクラスター形成事業

申込方法 催事1-①、1-②、2、3は、各締切日までに往復ハガキ(1イベントにつき1枚)に①イベント名、②参加者名(2名まで連名可)、③代表者の住所・電話番号を明記のうえ、世田谷文学館「筒井康隆展」係へお申し込みください。返信用にも代表者の住所・氏名をご記入ください。応募者多数の場合は抽選となります。結果は締切後、返信ハガキでお知らせします。

Events

当日参加

4. 朗読会「筒井康隆を読む」

[日時]11月24日(土)13:30~15:30(開場 13:00)

[出演]声を楽しむ朗読会

[司会・解説]福島勝則(多摩美術大学名誉教授)

[会場]1階文学サロン [対象]一般

[参加費]無料

[定員]当日先着150名

5. 「筒井康隆劇場」 特別上映

展示会場「筒井康隆劇場」で上映している作品を、会期中の土曜日・日曜日に限り、2階講義室でもじっくりご覧いただくことができます。

* 作品・上映スケジュールについてはお問い合わせください。

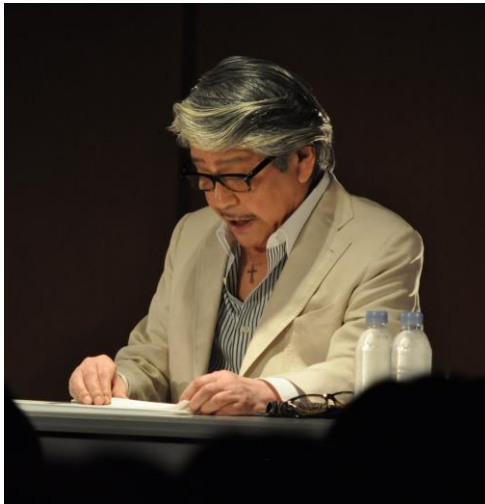
Outline

- 展覧会名** 筒井康隆展
- 会 期** 2018年10月6日(土)~12月9日(日)
- 会 場** 世田谷文学館 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10
TEL03-5374-9111 FAX03-5374-9120 <http://www.setabun.or.jp/>
- 開館時間** 10:00~18:00(展覧会入場、ミュージアムショップの営業は17:30まで)
- 休 館 日** 毎週月曜日(ただし10月8日は開館し、翌日は休館)
- 交通案内** 京王線:「芦花公園」駅南口より徒歩5分
小田急線:「千歳船橋」駅より京王バス(千歳烏山駅行)利用「芦花恒春園」下車徒歩5分
- 観 覧 料** 一般800(640)円、65歳以上・高校・大学生600(480)円、
障害者手帳をお持ちの方400(320)円、中学生以下300(240)円
※()内は20名以上の団体料金 ※10月12日(金)は65歳以上無料
- 主 催** 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館
- 協 力** KADOKAWA、河出書房新社、講談社、出版芸術社、新潮社、中央公論新社、
日本SF作家クラブ、早川書房、文藝春秋、ホリプロ
- 後 援** 世田谷区、世田谷区教育委員会

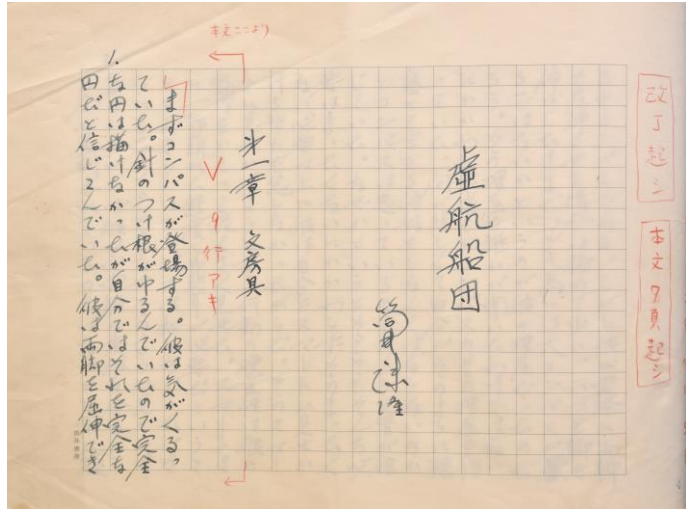
展覧会担当 世田谷文学館学芸部 中垣理子

- 同時期開催コレクション展
徳富蘆花と烏山ゆかりの文学者たち 10月6日(土)~2019年3月31日(日)予定
- 次回企画展
第37回 世田谷の書展 2019年1月8日(火)~14日(月・祝)
ヒグチユウコ展 CIRCUS[サーカス] 2019年1月19日(土)~3月31日(日)

Images



7. 筒井康隆



8. 筒井康隆『虚航船団』原稿



9.「筒井康隆大一座」公演『ジーザス・クライスト・トリックスター』チラシ



10. 筒井康隆作品の数々



11.「筒井康隆断筆祭」記念の手ぬぐい 1994年 デザイン:和田誠

筒井康隆展 広報用画像貸出申込書

世田谷文学館学芸部 佐野 行

FAX 03-5374-9120

展覧会広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は下記貸出条件をご確認のうえ、本申込書に必要事項をご記入いただき、ファックスまたはEメールにてお申し込みください。Eメール添付にてJPEGデータで画像をお送りいたします。

なお、本展紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正紙をお送りください。また、発行後、掲載誌を1部お送りください。

【広報用画像貸出条件】

- ◆画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ◆画像のトリミング、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◆画像データは、ご使用后必ず消去してください。
- ◆画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◆インターネット上で掲載する場合には、画像をコピーできないよう処置し、会期終了後はWEBサイトから必ず削除してください。

雑誌名・番組名・WEBサイト名 : _____

媒体種別 : 新聞・雑誌・フリーペーパー・テレビ・ラジオ・WEBサイト _____

発売・放送・更新予定日 : _____

御社名 : _____

御担当者名 : _____

御住所 : _____

Eメールアドレス : _____

電話番号 : _____

FAX番号 : _____

画像（画像には必ず下記のクレジットを付してください）

- 画像1 「断筆宣言」記念人形 1993年 *P1掲載
- 画像2 筒井康隆『シナリオ・時をかける少女』原稿 1983年 *P2掲載
- 画像3 筒井康隆 撮影:網中健太 *P2掲載
- 画像4 菊地成孔 *P5掲載
- 画像5 中川翔子 *P5掲載
- 画像6 松浦寿輝 *P5掲載
- 画像7 筒井康隆 *P7掲載
- 画像8 筒井康隆『虚航船団』原稿 *P7掲載
- 画像9 「筒井康隆大一座」公演『ジーザス・クライスト・トリックスター』チラシ *P7掲載
- 画像10 筒井康隆作品の数々 *P7掲載
- 画像11 「筒井康隆断筆祭」記念の手ぬぐい 1994年 デザイン:和田誠 *P7掲載